

クローズアップ! Ver.2 認知神経 リハビリテーション プラス 関連書

協同医書出版社 [刊行書籍のご案内]

このリーフレットでは、小社刊行物の中から、「認知神経リハビリテーション（認知運動療法）」をテーマにした書籍をご案内いたします。

株式会社 協同医書出版社
〒113-0033 東京都文京区本郷3-21-10
電話：03-3818-2361 (代表)
ファックス：03-3818-2368 (代表・編集部)
ファックス：03-3818-2847 (営業部)
郵便振替：00160-1-148631
Eメール：kyodo-ed@fd5.so-net.ne.jp (代表・編集部)
Eメール：Kyodo-se@fd5.so-net.ne.jp (営業部)
ホームページ：http://www.kyodo-isho.co.jp/

- *表示の価格は本体価格です。別途、消費税が加算されます。
- *掲載書籍は全国の書店で取り扱っております。店頭がない場合にもご注文いただければお取り寄せいたします。
- *直接弊社へご注文いただく場合には送料をお申し受けすることになります。ご注文の方法は下記のようにいくつかあります。
ご注文専用番号：電話 03-3818-2846/
ご注文専用番号：ファックス 03-3818-2847/
ご注文専用番号：Eメール kyodo-se@fd5.so-net.ne.jp
- ご希望の書名・冊数とご氏名・ご住所を明記のうえ、書籍代金に送料を加えた額を現金書留か郵便振替にてご送金下さい。2冊以上ご注文の場合は、お手数ですが送料の合計額(実費)を弊社にご照会下さい(上記、ご注文専用番号)。
- 書籍代金・送料「着払い」の宅急便コレクトサービスをご利用いただけます。
- 弊社ホームページ上からもご注文いただけます。



ご注文の方法や掲載書籍の詳細は、弊社ホームページ
<http://www.kyodo-isho.co.jp/>
をご覧ください。

『認知運動療法～運動機能再教育の新しいパラダイム』
刊行から14年、カルロ・ペルフェッティの探求の軌跡が書籍になりました。
日本人を対象にイタリアで実施されてきた講義の記録を中心に、ペルフェッティ自身によって編まれ、手直しされた10編の講義集。
イタリア認知運動療法の重要な研究プロジェクト「認知を生きる」、そして「患者と話す」を経て、リハビリテーションの科学性の核心が追究され、その未来への指針が示されています。

ISBN978-4-7639-1067-7

身体と精神

ロマンティック・サイエンスとしての認知神経リハビリテーション

カルロ・ペルフェッティ ● 著

小池美納 ● 訳 / 宮本省三・沖田一彦 ● 監訳

●B5変形・212頁・定価(本体4,000円+税)

内容 リハビリテーションのための認識論/リハビリテーションにおける意識経験/リハビリテーションにおける言語～メタファーと回復のプロセス/患者と話す～言語とリハビリテーション/アレッシアの物語～リハビリテーションにおける患者の言語の意識経験の記述/現実の教授法～訓練と現実の行為/身体を語る/素晴らしき水車/見失われた身体の歌/ピノッキオ：身体と精神～『ピノッキオの冒険』の認知神経理論的な視点からの解釈



ISBN978-4-7639-1019-6

認知運動療法 運動機能再教育の新しいパラダイム

カルロ・ペルフェッティ、宮本省三、沖田一彦 著 / 小池美納 訳

●B5変形・316頁・定価(本体4,500円+税)

「回復の科学」としてのリハビリテーションを提言した認知神経リハビリテーションの最も基本的な書籍で、日本とドイツで同時出版されました。日本版にはドイツ語版にはないペルフェッティの書き下ろしも収録されており、さらにドイツ語版にはない整形外科疾患に対する認知運動療法の方法が、日本のセラピストによって解説されています。

主要目次 脳卒中片麻痺に対する認知運動療法(リハビリテーション理論と運動療法) / 神経生理学における発見と認知運動療法 / 触覚から空間へ / 認知運動療法の基本原則 / 認知運動療法の実践 / 治療計画 / 認知運動療法の応用(整形外科疾患に対する)

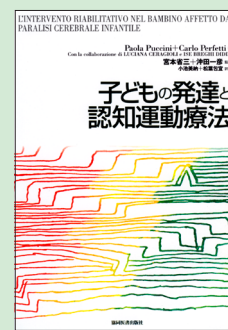


ISBN978-4-7639-1025-7

子どもの発達と 認知運動療法

パオラ・プッチーニ、カルロ・ペルフェッティ 著 / 宮本省三・沖田一彦 監訳 / 小池美納 訳

●B5変形・288頁・定価(本体4,500円+税)



『認知運動療法～運動機能再教育の新しいパラダイム』の姉妹編として刊行された発達障害に対する認知運動療法の基本書籍です。本書はそれぞれが別個に歩んできた神経運動学と発達心理学との融合から生まれたもので、発達障害の臨床ガイドに留まらず、人間の運動発達を解説したすぐれた教科書でもあります。

主要目次 発達期における行為としての運動 / 行動評価と運動療法 / 視覚探索 / 手の操作 / 歩行 / 空間と両手の協調 / システムモデルと相互作用モデル / 用語解説 / 心のなかの身体を育てる

ISBN978-4-7639-1040-0

脳のリハビリテーション： 認知運動療法の提言 [第1巻] 中枢神経疾患

カルロ・ペルフェッティ 編著 / 沖田一彦・宮本省三 監訳 / 小池美納 訳

●B5変形・220頁・定価(本体4,000円+税)



認知運動療法の治療理論を具体的に解説した書籍シリーズです。治療上のキーコンセプトとなる「運動イメージ」の神経学的な知見を解釈したうえで、それを治療に具体的に活用する方法を解説した書籍です。

主要目次 序「生物学との闘い」 / 運動イメージ(認知運動療法の要素としての運動イメージ; 運動イメージ、心的表象と治療訓練; 脳卒中片麻痺の治療における運動イメージの活用) / 失行症の諸問題に対するリハビリテーションアプローチのために(失行症のリハビリテーションの解釈のための提言; リハビリテーションの問題としての失行症; 失行症患者のための訓練仮説; 失行症に対する認知運動療法) / 小脳疾患に対する治療～認知器官としての小脳(リハビリテーション的解釈; リハビリテーションの視点からみた小脳機能の解釈)

ISBN978-4-7639-1041-7

脳のリハビリテーション： 認知運動療法の提言 [第2巻] 整形外科的疾患

カルロ・ペルフェッティ 編著 / 沖田一彦・宮本省三 監訳 / 小池美納 訳

●B5変形・220頁・定価(本体4,000円+税)



イタリアでの豊富な実践をもとに、認知運動療法の臨床を解説したシリーズ。本書は「中枢神経疾患」の続編で、整形外科的疾患に対する認知運動療法を具体的に提言する書籍です。

主要目次 手の病態と認知運動療法(手の巧緻な把持動作における大菱中手関節～リハビリテーションの視点からの解釈と訓練 / 両手移植症例における認知運動療法 / 肩の病態と認知運動療法(肩の再教育を目指す運動療法のための序説; 肩の整形外科的疾患に対する認知運動療法) / 脊柱の病態と認知運動療法(脊柱と認知; 脊柱の整形外科的疾患に対する認知運動療法) / 膝の病態と認知運動療法(前十字靭帯再建術後の膝再教育における認知運動療法)

認知神経リハビリテーション (認知運動療法)テキスト

ISBN978-4-7639-1037-0

認知運動療法講義

フランカ・パンテ 著／小池美納 訳／宮本省三 編集

●B5変形・220頁・定価(本体4,000円+税)



イタリアの「認知神経リハビリテーションセンター」の主任セラピストによる、3年間にわたる来日講義の内容を編集し、認知運動療法の理論的基盤、臨床の方法、そして臨床研究の探求テーマまでをわかりやすく解説した書籍です。実際の講義内容をもとに作られている本書は、認知運動療法のもっともわかりやすい入門書でもあります。

主要目次 道具としての認知理論／認知運動療法の基本概念／片麻痺の機能回復／認知運動療法における運動イメージの使用／失行症に対する認知運動療法／小脳障害に対する認知運動療法／整形外科疾患に対する認知運動療法／患者の意識経験を探る

ISBN978-4-7639-1043-1

認知運動療法と道具

差異を生みだす差異をつくる

カルロ・パルフェッティ 編集／

宮本省三・沖田一彦 監訳／小池美納 訳

●A4・76頁・4色刷・定価(本体2,500円+税)



認知運動療法の基礎理論を紹介し、身体と環境との相互作用をつくりだす治療のための主要な道具の意味や使用方法を解説したガイドブックです。

主要目次 刷新すること、自らを刷新していくこと／「差異を生みだす差異」を構築すること／認知理論／病理の解釈／訓練の原理／訓練の段階／本書の理解を深めるための推奨図書

【解説した道具】 タブレット、スポンジ、運動軌道板パネル、スティック、アーチ、ブリッジ、ボーゲン、不安定プレート、単・多軸プラットフォーム、ローラーボックス、シーソー

ISBN978-4-7639-1034-9

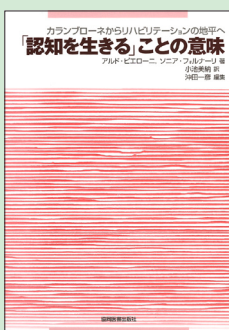
「認知を生きる」ことの意味

カラंबローネから リハビリテーションの地平へ

アルド・ピエローニ、ソニア・フォルナーリ 著／小池美納 訳／

沖田一彦 編集

●A5・98頁・定価(本体1,500円+税)



本書は2002年に行われた認知神経リハビリテーション学会(旧 日本認知運動療法研究会)の学術集会の特別講演の記録とインタビューから構成された読み物です。認知運動療法が生まれたイタリアのカラंबローネ病院から始まるリハビリテーションの改革の歴史を述べながら、「治療すること」に関わる医療者の認識の問題に重要な提言を行っています。

主要目次 リハビリテーションにおける二つの扉／認知運動療法と神経現象学／学習者としての患者の記述／など

ISBN978-4-7639-1071-4

ペイン・リハビリテーション を生きて

江草典政・三谷直子 著／寄稿…中谷俊彦

●A5・240頁・定価(本体3,000円+税)

正しく感じられることが増えるにしたがって 得体の知れない痛みと動かしにくさは 自然に消えてゆきました



4年半に及ぶCRPS (type1)に対する認知神経リハビリテーションの記録。患者の経験、セラピストの学術、両者の対話という3つの視点を重ね合わせることでその臨床のもつ本来の厚みを多層的に描き出します。

主要目次 [第1部 経験] 私の経験したペイン／[対話]リハビリテーションを振り返って [第2部 学術] 痛みの基礎科学と臨床との接点／患者との対話のために／臨床を創る [寄稿] CRPSと向き合う～患者を支えるペインクリニックとリハビリテーションのコラボレーション

ISBN978-4-7639-1050-9

わたしのからだをさがして リハビリテーションでみつけたこと

小川奈々・中里瑠美子 著／大西成明 写真

●A5・158頁・定価(本体2,000円+税)



リハビリテーションの 本当の意味。

目に見えるし、手でさわることでもできるこのからだ、ずっと、わたしにはみつけれなかった——脳梗塞によって左半身が麻痺した女性とそのセラピストが共に探し続けたものが、二人の往復書簡を通して浮かび上がってきます。

ISBN978-4-7639-1068-4

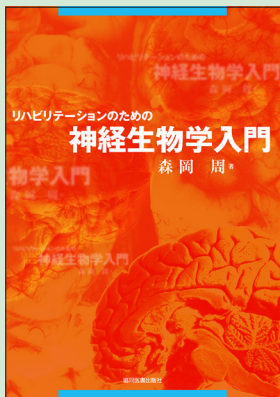
シリーズ 第3弾 リハビリテーションのための 神経生物学入門

森岡 周 著 ●A5・368頁・定価(本体3,800円+税)

人間の行為の意味とその脳科学。

リハビリテーション脳科学を人間の行為の10のカテゴリーに整理し、最新脳科学をレビューします。

主要目次 私たちはどこから来たのか…人類の進化に伴う脳機能の変遷／「私」はどのようにして生まれるのか…脳の発達と成熟／「私」はどこにいるのか…自己意識と身体性の神経機構／私は世界に触れる…手の進化とその神経機構／私は世界を歩く…二足歩行を生み出す神経機構／私は知る…学習する人間／私の心は動かされる…情動の神経機構／私は心の中に世界をつくる…概念・言語・イメージ・ワーキングメモリの神経機構／私は世界とともに生きる…社会的動物としての人間／私たちはどこへ行くのか…文化・芸術を生み出す人間



ISBN978-4-7639-1053-0

運動の生物学 改訂第2版 臨床家のための脳科学

塚本芳久 著

●A5・302頁・定価(本体3,500円+税)



運動学の基礎を、細胞運動から脳・神経機構による制御へ進化した筋の理解に据え、運動の特質を活かす学習による機能回復の原理を提言します。

主要目次 感じることと動くことは生命の営みの「原型」である／脳-神経システムの本質は情報システムである／人間の情報統合システム／スーパー・ニューラルネットワーク／情報統合システムは運動行動や意識をどのように生み出すか／発達期における行為としての運動／情報統合システムに対するリハビリテーション／「意識」へと向かう臨床のビジョン／臨床を生きる

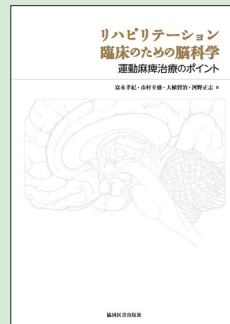
ISBN978-4-7639-1069-1

リハビリテーション臨床のための 脳科学

運動麻痺治療のポイント

富永孝紀・市村幸盛・大植賢治・河野正志 著

●A5・224頁・定価(本体2,800円+税)



脳科学の成果とリハビリテーション治療とをつなぐ重要部分を具体的に書いた実践書。脳損傷患者の治療とリハビリテーションを専門にする病院のセラピストたちが、これまでの豊富な臨床例を踏まえて具体的に脳科学を臨床思考に活用する方法を提言します。

主要目次 リハビリテーション臨床のための脳科学／治療に先立って～覚醒と意識、そして注意／治療のために～リハビリテーション臨床を脳科学の視点から実践する／上肢の運動麻痺に対するリハビリテーション(重度、中・軽度)／下肢の運動麻痺に対するリハビリテーション(重度、中・軽度)

ISBN978-4-7639-1066-0

リハビリテーションのための 発達科学入門

身体をもった心の発達

浅野大喜 著

●A5・128頁・定価(本体2,000円+税)



身体図式、身体イメージから社会的に形成される身体表象へ!

本書は、小児リハビリテーションに長く取り組んできた著者によるもので、子どもたちの発達支援に欠かすことのできない発達科学の知識を提供するものです。特に本書で強調されているのは、子どもという存在が生きる世界への探索の動機を育み、社会との関わりを構築しながら発達していくという発達観であり、ここにセラピストとして介入していく意義と可能性があります。これからの小児リハビリテーションを背負っていくすべての若い人々に向けた提言。

主要目次 他者との出会い／自己身体の見え／他者身体の見え／他者行動の模倣・再生／発達科学から発達リハビリテーションへ

ISBN978-4-7639-1042-4

シリーズ 第1弾 リハビリテーションのための 脳・神経科学入門

森岡 周 著

●A5・174頁・定価(本体2,000円+税)



本書は、シリーズ開始にあたって、特にリハビリテーションの解釈や実践の展開に大きく関わる知見を最優先に扱ったものです。感覚と運動の統合、運動制御と運動学習、運動イメージ、言語といった脳機能の最重要テーマを網羅しています。

主要目次 身体は脳の中で多重に、かつ可塑的に、そして生物学的な変化として再現されている／運動学習は脳の複雑なシステムによって実現されている／古い小脳の知見から新しい小脳の知見へ／身体図式は空間認知によって生成される／運動イメージは身体図式に基づいて生成される／運動イメージによって脳は活性化される／「いかに知るか」というプロセスが脳の生物学的変化の決定権を握っている／行為を生み出すための心的シミュレーション／言語記述は脳のシステムを監視・制御できる戦略である／科学的知見の解釈によってリハビリテーション・パラダイムは変わるべきである

ISBN978-4-7639-1045-5

シリーズ 第2弾 リハビリテーションのための 認知神経科学入門

森岡 周 著

●A5・180頁・定価(本体2,000円+税)

前著「脳・神経科学入門」に続き、本書ではリハビリテーションの臨床にいつそう直接的に関わる認知神経科学の知見を厳選し、その内容をレビューします。

主要目次 認知神経科学の誕生と展開／知覚と表象の神経生物学／注意の情報処理モデルと注意障害／記憶の現象学／言語野の進化とコミュニケーションの脳内メカニズム／個人の主観的な意識経験(心の状態)が神経システムに影響する／社会的認知における模倣行動と心の理論の発達／自己意識のオペレーティングシステム／意識経験とクオリア／リハビリテーション治療への提言

